

## 平成29年度 現代社会

教科(科目)	公民(現代社会)	学科(コース)・学年	全学科・3学年
使用教科書	最新現代社会(実教出版)		
副教材等	最新図説 現社(浜島書店)		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	必修

## 1. 学習目標

現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深め、現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養うことを目標とする。

自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。

## 2. 指導の重点

○「現代社会」では、現代の社会における問題や課題を倫理、経済、政治、国際社会の観点から学習する。

○社会諸事象相互の関連性や多様性に留意しながら学習を進め、それらに対する公正な判断力を身につけさせる。

## 3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1 学期	第1部 わたしたちの生きる社会 第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題	○現代社会が抱える諸課題を理解しそれらに対する関心を持ち、課題の解決にどのような行動が必要か自ら考察する。	○資料収集能力と、課題追求学習への取り組み方。 ・学習状況観察 ・発問評価 ・単元テスト ・定期テスト ・考察結果の発表
	第2部 現代の社会と人間 1 青年期の自己形成 第1章 自分らしく生きる 第2章 人間としてよく生きる 2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治	○青年期の意義と、進路や職業選択などの自己形成の課題を学び、青年期の生き方を考察する。  ○世界の主な国の政治体制を比較しながら理解させるとともに望ましい政治や主権者としての参政の在り方について考えさせる。	
2 学期	第2章 日本国憲法の基本的性格  第3章 日本国憲法の基本的性格	○日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解させ、民主政治において主体的に生きる人間としての在り方生き方を考えさせる。  ○議会制民主主義と権力分立について、その意義や多数決の原理と運用方法などについて理解させるとともに、民主政治の権力分立の意義を法の支配や基本的人権の保障と関連づけて理解を深めさせる。また、新聞などを教材として、身	○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。 ・学習状況観察 ・発問評価 ・単元テスト ・定期テスト

	<p>3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会</p> <p>第2章 日本経済の特質と国民生活</p>	<p>近な話題を示す。</p> <p>○激動する経済社会について、様々な角度から理解を深めさせ、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察させる。</p> <p>○金融の意義や役割を理解させるとともに、金融政策の目的と手段について理解させる。また、新聞記事を題材にし、現実の動きと関連させて説明する。</p> <p>○日本の経済成長と現代の経済変化、消費者・雇用・労働問題、社会保障を理解し、経済発展と国民福祉の実現との関連を考察する。</p>	
<p>3 学期</p>	<p>4 国際社会と人類の課題 1 第1章 国際政治の変化 第2章 国際政治の動向と国際協力 第3部 共に生きる社会を目指して</p>	<p>○グローバル化が進む国際社会の政治・経済の動向を理解し、核をめぐる問題・環境問題・人口問題・食料問題などの国際社会が抱える課題を考察する。</p>	<p>○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。</p> <p>・学習状況観察</p> <p>・発問評価</p> <p>・単元テスト</p> <p>・定期テスト</p>

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<p>○現代社会に生きる私たちの課題について、興味と関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。</p>	<p>○現代社会における、私たちの課題を的確に見だし、自己の問題・課題として考察することができる。</p> <p>○現代社会の様々な課題を総合的にとらえながら、人間生活との関わりを考察し、判断できる。</p>	<p>○課題について、新聞やインターネットなどを利用し、主体的に資料や情報を収集し、課題についての考察過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○現代社会と人間について理解を深め、良識ある公民としての基本的な知識を身につけている。</p> <p>○現代社会に生きる人間としての生き方や在り方を考察できる。</p>

具体的な評価の対象

- ・年5回（5月中旬、7月上旬、10月上旬、11月下旬、1月下旬）の定期考査
- ・単元テスト、授業で使用したプリント、学習・授業ノートなど
- ・学習活動の参加状況（態度、発言内容、授業への取り組みなど）

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

現代社会の授業を通して、様々な社会の事象に興味・関心・疑問を持ち、自らの課題としてとらえ、主体的に学習し、自ら考え、そしてその考えを表現できる力を身につけてもらいたい。また、現代社会の課題を十分に理解した上で、広い視野に立って考え、判断し、行動できる人間になってもらいたい。